

研究タイトル:

①漢学(中国の人文学)が日本人の思想・学術に及ぼした影響

②松前漢詩壇の解明



氏名:	泊 功/TOMARI Ko	E-mail:	tomari@hakodate-ct.ac.jp
職名:	教授	学位:	博士(文学)
所属学会・協会:	日本中国学会, 日本現代中国学会, 日本文学協会		
キーワード:	日中比較文学, 日本漢学, 国語教育, 松前の漢詩		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語⇄日本語翻訳技術 ・日本語論文・解説文のライティング技術・キャッチコピー製作。または人文教養的な講話など 		

研究内容: ①漢学(中国の人文学)の日本への影響 ②松前漢詩壇の解明 ③中国語教育

① 日本に漢学が伝わった意味を近代以前と近代以後に分けて考察している。近代以前にはほぼ「学」として絶対的な存在であった漢学だが、江戸中期の国学の勃興、そして江戸から明治に至る蘭学から西洋の学問の流入によって、その地位は相対化された。そうして漢学無用論、存廃論、近代的学問としての昇華を目指す動きなどとともに形成された近代漢学が、実は日本の皇室イデオロギー確立に貢献したこと、また、漢学者の言説、さらに漢学の教養が深い作家たちの作品群が日本のオリエンタリズムを形成していたことを比較文学的に考察している。

また、上記の問題のもう一つの参照軸として、現代日本と中国の漢文教育(中国においては文言文教育)が日中近代史の影響とはパラレルに存在していることに注目し、それぞれの理念、制度、教材内容、教育方法などの検討を進めている。

② 最北の藩として蝦夷地に置かれた松前藩にも、高木重俊氏の研究によって知られるように蠣崎波響を中心とする漢詩壇が形成されていた。このように北辺の地にも中国をオリジナルとする漢字文化が根付いていたことに着目し、波響の孫娘の婿である蠣崎伴茂(松濤)など波響に連なる漢詩人の作品を訓読し、波響以降の松前漢詩壇の解明を進めている。

③理工系の学校に在ることと、これからの技術開発や製品市場として中国との関わりは無視できないことから、理工系学生に合った中国語教育教材・教育方法の研究に取り組んでいる。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)